

12月2日(日)実施 実践を語り聴く「ラウンドテーブル」 発表者一覧

※五十音順

発表者氏名	期	所属	発表テーマ
青柳りつ子	4	アオヤギ行政書士事務所/多言語行政書士協会	専門職としての相談事業への関わり —行政書士・ポルトガル語相談員として—
飯島秀次	2	茨城県下妻市立下妻小学校	公立小学校における日本語指導の実践 —日本語指導教室経営の支えについて—
江原美恵子	3	早稲田大学日本語教育研究センター インストラクター非常勤	地域の活動をデザインする —日本語教育を専門とする立場での地域活動実践から—
大森典子	2	公益財団法人 愛媛県国際交流協会	外国人住民支援における県国際交流協会と地域自治体・地域国際交流協会との連携(愛媛県を事例として)
亀井鈴子	4	栃木県産業労働観光部国際課	地方自治体における多文化共生施策展開のための体制づくり(栃木県を事例として)
菊池哲佳	2	財団法人 仙台国際交流協会企画事業課企画係主任	地域防災を通じた「多文化共生」に向けての協働 —多文化社会コーディネーターの実践から—
北村祐人	3	名古屋大学 とよた日本語学習支援システムシステム・コーディネーター	地域日本語教育における「地域社会」へのアプローチ —システム・コーディネーターの立場から—
齊藤由実子	2	横浜市南区役所戸籍課	多文化共生社会実現にむけての行政組織内の土壌づくり —組織の壁に挑戦し苦悩する日々—
田中良幸	2	東京都北児童相談所	外国にルーツのある子どもと家庭の福祉的視点からの共生社会実現の課題
崔 英善	2	バイリンガルネットワーク(旧外国人親たちの学習教室)代表	「バイリンガル指導者養成講座」からみる信頼性をキーワードにするコーディネーション—当事者性を視野にいれて—
長坂香織	3	山梨県立大学	地方都市の多文化化の道のりを考える —大学所属の多文化社会コーディネーターと地域貢献
花輪豊子	1	八王子国際協会	新しい組織と地域社会との共生を試みて —多文化社会コーディネーターの役割を考える—
ピッチフォード理絵	3	特定非営利活動法人青少年自立援助センター 定住外国人子弟支援事業部 福生子ども日本語教室	地域年少者日本語教室と公教育、行政との連携のあり方
平田百合子	2	日本語サークル「わ」の会	行政 とNPOとの協働事業の発展的継続を目指した実践の報告 —T市立学校児童生徒日本語支援と多言語交流会—
松尾 慎	2	東京女子大学	太田市の母語保持教室におけるブラジル人住民と大学生の協働実践 —ビデオによる実践紹介とその批判的検討—
松木美砂子	2	明德義塾高等学校	明德義塾高校における国際家庭生徒・帰国生への日本語指導と評価の取り組み
宮崎妙子	1	武蔵野市国際交流協会 日本語学習支援コーディネーター	「市民活動を創る」 —日本語学習支援コーディネーターの立場から—
宮澤千澄	4	横浜市教育委員会事務局西部学校教育事務所指導主事	日本語指導の必要な子どもたちのためのネットワーク作りの例 —国際教室担当教員の果たす役割—
森 康仁	2	一般財団法人 東北多文化アカデミー 就職支援部長	外国人留学生への就職指導から見た多文化社会の現状とその課題 —より良きパートナーとしての外国人とは—
和田利一	5	明德義塾高等学校 国際交流部	中学高等学校における多文化・多言語共生の試み